

出会いと発見・感動あふれる観光交流都市“かごしま”を目指して

～第2期鹿児島市観光未来戦略を策定しました～



観光未来戦略策定の目的と背景

本市の観光にとって九州新幹線全線開業は、交流人口を増やし、まちを活性化させる絶好の機会です。九州新幹線の全線開業後、本市の入込観光客数や主な観光施設などの利用者が増加するなど、全線開業の効果が表れてきています。

この新幹線全線開業の効果を持続・拡大させ、本市のさらなる発展につなげるため、本年度を初年度とする新たな観光振興の指針である、第2期鹿児島市観光未来戦略を策定しました。

第1期戦略での取り組み

平成17年に策定した第1期観光未来戦略では、平成23年3月の九州新幹線の全線開業を見据えて、甲突川

待望の九州新幹線全線開業から2年目を迎えました。今月の特集では、本年度を初年度とする新たな観光振興の指針である「第2期鹿児島市観光未来戦略」を紹介します。【観光企画課 216-1344】



かごしまボランティアガイドによる「鹿児島ぐらりまち歩き」

新たな観光スポットとなった「桜島」溶岩なぎさ公園足湯

右岸・左岸緑地帯の整備や主要な観光施設のリニューアルなど、回遊性の高い観光地づくりに取り組みました。また、観光客の受け入れ体制の充実、効果的な情報発信など、官民一体となってハード・ソフト両面から観光振興を図りました。

基本目標

■基本コンセプト

出会いと発見・感動あふれる観光交流都市“かごしま”

市民、事業者、行政などが一体となって

- 観光客が、歴史や自然、食など魅力ある資源との“出会い”や、ホスピタリティあふれる市民との“出会い”を楽しんでいただける“観光交流都市”を目指します
- 観光客の多彩なニーズに対応することで、観光客が新たな楽しみを“発見”し、“感動”と満足感に満たされる“観光交流都市”を目指します

■計画年度

平成24年度～28年度(5年間)

■数値目標

目標項目	平成22年	平成28年	対22年比
入込観光客数	888万人	1050万人	162万人増
宿泊観光客数	286万人	350万人	64万人増
外国人宿泊観光客数	8万人	16万人	8万人増

第2期戦略の概要

第2期観光未来戦略は、基本コンセプト「出会いと発見・感動あふれる観光交流都市“かごしま”」を掲げ、その実現のために、4つの基本戦略を定めています。

今後、市民・事業者・NPOなどとの連携を強化しながら、戦略の着実な推進を図ります。

4つの基本戦略

1 「鹿児島」オリジナルの魅力の向上 ～感動・体験・回遊できるまちづくり～

豊かな資源のさらなる活用や新たな魅力を創出するとともに、体験できる観光の推進、回遊性の向上やイベントの充実など、市民や観光客が感動できる取り組みを進めます。

視点①観光資源・イベントの磨き上げと充実

- 1) もっと「桜島」を体感できる体験メニューづくり
- 2) 錦江湾・ウォーターフロントの魅力の活用
- 3) 歴史・文化遺産の活用
- 4) 「食」を活かした“美味のまち鹿児島”づくり
- 5) まちなか温泉の魅力の活用
- 6) 四季を通じたイベントづくり

視点②回遊性を高める仕掛けづくり

- 7) 中心市街地の回遊性の向上
- 8) 施設をつなぐ周遊ルートづくり
- 9) 個性ある交通機関の活用
- 10) 滞在型観光の推進による経済効果の増大

視点③新しい観光のスタイルへの対応

- 11) 豊かな農村地域を活かしたグリーン・ツーリズムの推進
- 12) 多様なニーズ・ニューツーリズムへの対応

2 「鹿児島」ならではの情報の発信 ～効果的な情報戦略の展開～

「鹿児島」ならではのストーリーづくりや、おすすめ情報の発信を強化するとともに、ICT社会の進展を捉え、ガイドブックなど従来の媒体と組み合わせた効果的な情報発信・プロモーションを進めます。

視点①ニーズ的確な把握

1) ニーズの把握とターゲットの明確化

視点②効果的なプロモーションと情報発信機能の強化

- 2) ブランド力のさらなる向上と鹿児島ならではのストーリーづくり
- 3) 鹿児島ならではの魅力・おすすめ情報の発信による認知度向上
- 4) 幅広い情報発信ツールの活用による情報発信力の強化
- 5) コンベンション・スポーツキャンプ・教育旅行などの誘致強化

視点③人的ネットワークの積極的な活用

- 6) 県内外の応援団・サポーター・ファンづくり

3 おもてなし先進都市「鹿児島」づくり ～観光客に優しい受入体制づくり～

市民一人ひとりが自分の暮らすまちに自信と誇りを持てる機会づくりに取り組むとともに、観光客を支援する役割を担える人材の育成に取り組めます。また、観光客が安心・快適に観光できるまちづくりに取り組めます。

視点①市民が誇れるまちづくり

- 1) 市民がふるさとの良さ・資源を再認識する機会づくり
- 2) 美しく潤いのある都市空間・魅力的な景観づくり

視点②官民一体となった「おもてなし」の向上

- 3) 魅力を余すことなく伝えられる人材の育成支援
- 4) 観光客との出会いを大切にしたりピーターづくり

視点③安心・快適に観光できる体制づくり

- 5) わかりやすい観光案内機能の充実
- 6) 利便性の高い交通環境の充実

4 南九州及びアジアのゲートウェイ「鹿児島」づくり ～ハブ機能を活かした集客拡大～

海外観光客の誘致促進を図るため、アジアのゲートウェイとしての地位の確立に取り組むとともに、外国人観光客目線にたった受け入れ体制の充実を図ります。また国内においては、南九州のゲートウェイとしての機能向上に取り組めます。

視点①東アジアをメインターゲットとした誘致

- 1) 東アジアへの情報発信強化とニーズに合わせたプロモーション戦略の展開

視点②外国人観光客目線に立った受け入れ体制の充実

- 2) 外国人観光客に対するきめ細やかな受け入れ体制づくり

視点③ハブ機能とネットワークの強化・拡大

- 3) 「陸」新幹線などを活かした国内広域連携の強化
- 4) 「海」大型クルーズ船の積極的な誘致・受け入れと離島との連携
- 5) 「空」航空路線を活用した誘致の強化
- 6) 海外ネットワークの活用

鹿児島の人にも魅力を感じてもらいたい

○かごしま親善大使として、鹿児島の観光プロモーション活動を行っています。

○九州新幹線の全線開業後、福岡をはじめ、関西・中国地方からいらっしゃる観光客が増えたと感じます。実際に、私たちが岡山などにプロモーションに行ったときに「新幹線で近くなったね」と声をかけていただくことも多くなりました。

○鹿児島市の魅力はやっぱり桜島だと思えます。私たちに身近な桜島ですが、県外の人は火山灰にも感動するんですよ。雄大な桜島を眺めながら足湯に入っていると、桜島のパワーをもらえるような気がします。

○鹿児島には、歴史・文化・食など、魅力がたくさんあります。県庁所在地にこんなに温泉があるなんて、他の都市にはないんですよ。鹿児島の人にも鹿児島の魅力を知ってもらって、観光客の皆さんにおすすめ情報を広めてもらえればと思います。



かごしま親善大使 (左から中島 三奈さん、巻岐 英里さん、原口 優さん)

戦略推進のために

■戦略推進に向けた体制づくり

◇国や県、関係市町村、関係機関との連携をはじめ、市民、事業者、NPOなどとの連携を強化し、戦略の着実な推進を図ります

◇戦略の評価体制

- ①PDCAサイクルに基づいた評価体制のもとでの施策の推進を図ります
- ②市民や観光客、観光の最前線で従事している現場の人たちなどから、定期的な意見を聴取し、施策に反映していきます
- ③施策に基づく事業の評価にあたっては、できるだけ定量的な指標によるなど、第三者にも分かりやすい評価に努めます

■観光動向の調査・分析

◇国内外の観光客の動向やニーズに関する調査を継続的に行い、その結果を各種事業に活かすとともに、社会経済情勢の変化などにも柔軟に対応できるよう努めます